

九州経済圏貿易統計のポイントについて (令和8年6月分：速報)

<対世界>

○輸出総額:1兆874億円(伸率: +11.0%) ⇒ 3か月連続のプラス

・順位:14位、6月としては1位

【順位は、昭和54(1979)年1月以降(570か月、6月は48か月)による。以下同じ。】

・増加品目:自動車(同+16.7%)、半導体等電子部品(同+21.6%)

○輸入総額:9,784億円(伸率: +19.6%) ⇒ 4か月ぶりのプラス

・順位:14位、6月としては2位

・増加品目:金属鉱及びくず(同+45.3%)、半導体等製造装置(同5.9倍)

○差引額:1,090億円(伸率:▲32.7%) ⇒ 17か月連続の輸出超過

・順位:89位、6月としては11位

為替レート: 2026年6月:159.69円/ドル(2025年6月:144.04円/ドルと比べ10.9%の円安)

<品目別動向>

○輸出

自動車(2,583億円→3,015億円、伸率: +16.7%)は、アメリカ(292億円→770億円、同2.6倍)及びメキシコ(48億円→190億円、同4.0倍)向けが増加し、3か月連続のプラスとなった。

また、半導体等電子部品(1,067億円→1,298億円、同+21.6%)は、ベトナム(121億円→223億円、同+83.8%)及び香港(446億円→526億円、同+17.9%)向けが増加し、12か月連続のプラスとなった。

一方、船舶(485億円→257億円、同▲47.0%)は、パナマ(354億円→実績なし)及びバルバドス(53億円→実績なし)向けが減少し、3か月ぶりのマイナスとなった。

○輸入

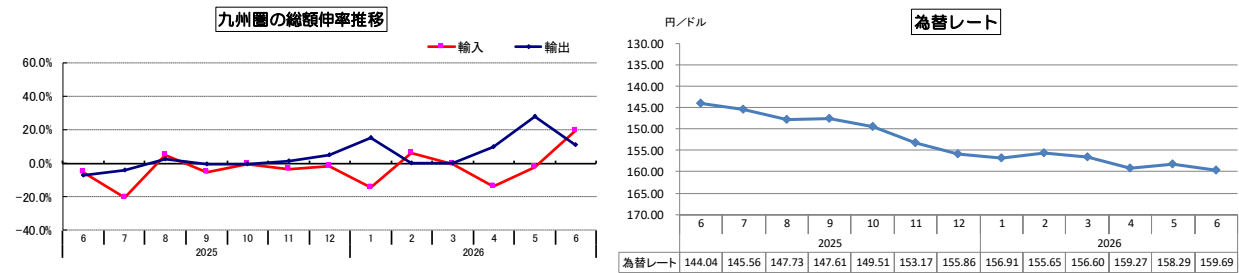
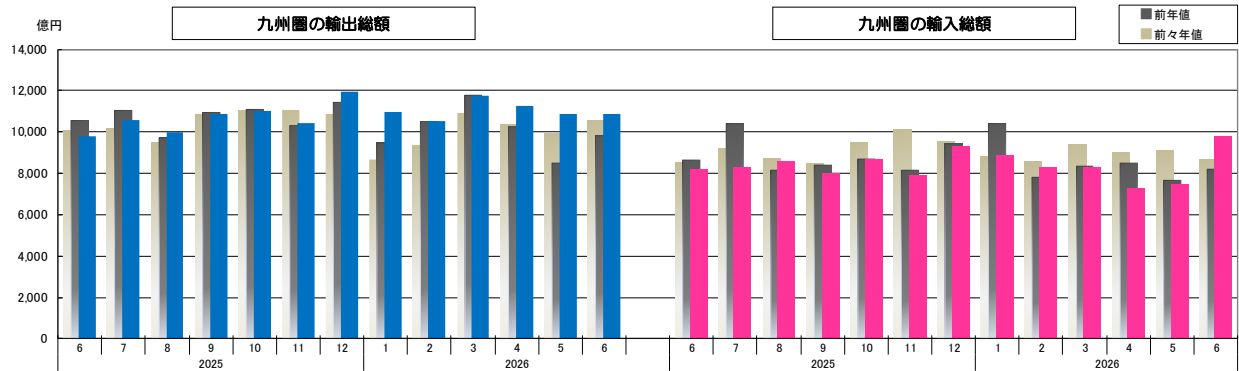
金属鉱及びくず(946億円→1,374億円、伸率: +45.3%)は、チリ(289億円→546億円、同+89.0%)及びパプアニューギニア(実績なし→161億円)からが増加し、6か月連続のプラスとなった。

また、半導体等製造装置(41億円→240億円、同5.9倍)は、EU(1億円→196億円、同131.5倍)及び中国(3億円→8億円、同2.9倍)からが増加し、4か月連続のプラスとなった。

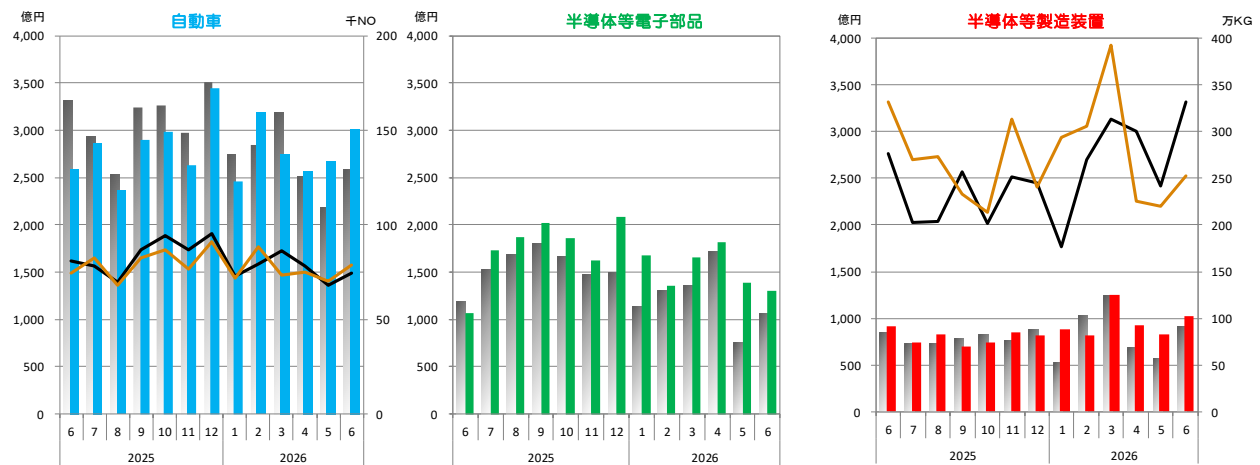
一方、原粗油(276万KL→143万KL、同▲48.2%、1,802億円→1,704億円、同▲5.5%)は、サウジアラビア(126万KL→19万KL、同▲84.6%、842億円→221億円、同▲73.8%)及びクウェート(30万KL→11万KL、同▲63.5%、183億円→74億円、同▲59.4%)からが減少し、7か月連続のマイナスとなった。

※ 伸率及び増加・減少は、すべて対前年同月比

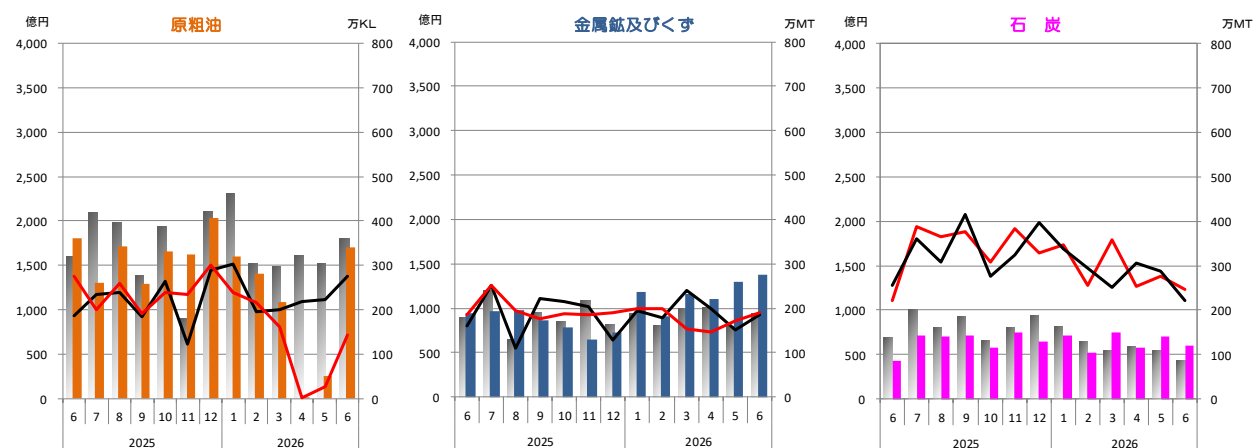
令和8年6月分：速報



九州圏の輸出主要品目推移



九州圏の輸入主要品目推移



※この内容を引用されるときは、「門司税関発表による」と付記してください。